# 山野井たかし後援会だより

No.50

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	渡辺 雅照
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発 行 日	2015年7月8日

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

4月の小山市議会議員選挙では皆様のご支援をいただき、4期目の当選をすることができました。

市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成27年第2回臨時会が、5月19日に行われ、正副議長をはじめとする議会人事が決定しました。

また、平成27年第3回定例会が、6月8日から29日の日程で開催され、一般会計補正予算をはじめ、全7議案が上程され、全議案が原案通り可決されました。



### 【議会人事】

・議 長:関 良平議員(5期目・自民未来塾)・副議長:角田良博議員(7期目・あゆみの会)

### <山野井たかしの所属委員会等>

- ·建設水道常任委員会
- · 予算審査常任委員会
- · 決算審査特別委員会
- · 小山駅周辺都市整備特別委員会
- · 小山市工業振興懇話会
- ·教育施設整備調查委員会

### <会派構成について>

・自民未来塾 8名

市政会 5名

·市民派21 4名

·公明党議員会 3名

・おやま創生会 3名

・あゆみの会 2名

無会派5名

### 【議会改革について】

小山市議会では、これまでに議会改革推進協議会(議長以外の全議員参加)を設置して、様々な改革を進めてきました。これまでに実現できたものは次の通りです。

・平成16年2月 テレビ小山放送による議会中継開始

・平成23年9月 予算審査特別委員会設置

決算審査特別委員会設置

・平成23年12月 小山市議会基本条例制定・平成24年4月1日 小山市議会基本条例施行

・平成24年10月 第1回小山市議会報告会(市内6箇所)・平成26年5月 第4回小山市議会報告会(市内9箇所)

しかし、議会改革推進協議会の議題にはあがったものの実現できなかったものの一つに、議員定数の削減があります。議員自らが身を切る改革を行って、市民に期待される議会・議員をめざして行かなければ、選挙の投票率も下がる一方だと思っています。現在の議員定数30を5名程度削減できるように議会の中で発言していきますので、ご支援をお願いします。



## 【市政相談】

①神鳥谷地内の子供たちが通学で利用している信号のない横断歩道で、通勤時間帯に非常に交通量が多く車が停止してくれないことから、保護者の方より横断旗の設置要望があり、市生活安心課や土木課、教育委員会のご協力をいただき、設置することができました。子供たちが安心して利用できる横断歩道となるように、ドライバーの皆さんにも注意していただくようにお願いします。





②八幡町内の国道4号線歩道において、大雨が降ると大きな水たまりができてしまい、歩道を通行する歩行者や近隣住民の敷地内への出入りに困っているとの相談があり、市建設政策課のご協力をいただき、吸水用の穴を2箇所開けていただきました。





③富士通㈱小山工場正門前の歩道に敷いてある鉄板が捲れあがってしまい、躓いてケガをする人が出ているとの相談を受け、市土木課にお願いして鉄板の撤去及び補修をしていただきました。





#### 【トピックス】

定例会最終日に、大久保市長から『定住自立圏構想』を実現するための『中心市宣言』が行われました。これは、小山市が中心市で下野市・野木町・結城市の2市1町を近隣市町の対象とする、 『定住自立圏』を実現しようとするものです。

定住自立圏構想とは、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地域に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出するため、全国的な見地から推進していく施策です。

包括的財政措置として、中心市には8,500万円程度(人口・面積等を勘案)、近隣市町には 上限額1,500万円の特別交付税が国から交付されます。

今後、近隣市町と連携・協力が想定される取組として①生活機能の強化に関する取組が7分野、②結びつきやネットワーク強化に関する取組が6分野、③圏域マネジメント能力の強化に関する取組が4分野となっています。